

パブコメ集計結果(脳科学研究戦略推進プログラム(脳科学プログラム))

1. 総数: 121 件

2. 賛否について:

○賛成:	110 件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	7 件
○反対:	4 件
計	121 件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 精神疾患の治療には、脳機能のメカニズムの解明を含めた原因究明と、それに基づいた確実な診断法、有効治療法の開発が必要である。
- ・ 社会的に大きく問題となっている、認知症・うつ病・発達障害等を解決することにつながる脳研究は最優先させるべき課題である。
- ・ 脳科学研究戦略推進プログラムは基礎研究のみならず、臨床的にも社会的にも意義のある必要予算である。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ 脳研究における動物実験を廃止するべきである。
- ・ 配分方法を見直す必要がある。大型予算にしてしまうと、学会のトップ、一部のビッグラボ、あるいはそのような研究室と繋がる研究者にしか研究費が回らない。

③反対

- ・ 他の脳科学施策と重複がある。
- ・ 脳科学分野のトップダウンの研究内容は充分見直されるべきであり、基礎研究分野はボトムアップの科研費によりサポートされるのが健全である。
- ・ 中間報告で S 評価は1つのみで後の3課題は C 評価であった。削減が求められている現在、予算をつぎ込む価値はないと考える。
- ・ 本プログラムに所属する研究者の多くが CREST にも参加している。